

唐古・鍵遺跡

史跡公園活用基本方針



田原本町教育委員会

平成 29 年 6 月

## 一 唐古・鍵遺跡史跡公園の目標 一

### 唐古・鍵遺跡の「弥生力」を地域文化として活かす公園

唐古・鍵遺跡史跡公園は、これまでの発掘調査の成果に基づく整備により、地域の中で長年営まれてきた遺跡の歴史・文化・自然を知り、またそれを体験する公園である。

唐古・鍵遺跡の「弥生力」を、本町の地域文化として活かしていくことを基本とする。また、唐古・鍵考古学ミュージアムや史跡公園に隣接する道の駅との機能連携による観光拠点を創出するとともに、来園者に親しまれる憩いの場、コミュニティの場として、住民とともに賑わいと活力のあるまちづくりを推進する。

目標実現のための5つの柱	1. 歴史・文化・自然を知る・体験できる公園	(1)・(2)・(3)・(4)
	2. 継続的な発掘調査による遺跡情報を発信する公園	(1)・(4)
	3. 弥生の風景を再現する公園	(1)・(2)・(3)・(4)
	4. 地域住民やボランティア等が参画する公園	(1)・(2)・(3)・(4)
	5. 賑わいを創出する公園	(2)・(4)

## 活用基本方針

(1) 教育的・社会教育的活用	唐古・鍵遺跡は、弥生時代を代表する奈良県唯一の史跡であり、この遺跡がもつ歴史的・文化的な価値を子どもから大人まで知ってもらえるように活用。
(2) 地域コミュニティとしての活用	唐古・鍵遺跡は、町が誇る文化的資源であり、その一部である史跡公園は地域住民らの地域アイデンティティを形成する場として活用。
(3) 歴史的景観(まちづくり)としての活用	唐古・鍵遺跡は、先人たちが現在まで残してきた遺産であり、公園周辺を含め、そこにある歴史的な景観の維持と弥生の風景の再現を目指しながら活用。
(4) 観光的(地域資源)活用	唐古・鍵遺跡は、桜井市纏向遺跡とともに邪馬台国所在地論争の1遺跡であり、古代史ファンが訪れる重要遺跡として地域連携を図りながら活用。

# 1. 歴史・文化・自然を知る・体験できる公園

## (1)教育的・社会教育的活用

一覧番号	活用方法	実施日	場所	対象	内 容
①	校外学習の受入れ	春、秋 20回程度	公園 (生活体験広場) 道の駅	町外の小中学校	公園では屋外メニュー(火熾し、炊飯等)、道の駅では屋内メニュー(勾玉、土器づくり等)を実施する。
②	総合的な学習、 他教科学習	春、秋 14回程度	公園全域	町内小学校6年	副読本を活用し、火熾しや赤米炊飯、土器野焼き、樹木伐採、柱立てを体験する。
				町内小学校4年	副読本を活用し、昆虫や草花の観察、写生をおこなう。
③	日の出、名月の鑑賞会	7月～10月 2回程度	公園 (弥生の林エリア) 道の駅	全ての人	春分・夏至・秋分・冬至の日の出や中秋の名月を鑑賞する。
④	昆虫・草花・野鳥観察会	適時 3回程度	公園 (弥生の林エリア 多重環濠エリア)	主に小学生	昆虫・草花・野鳥の観察や標本作りをおこない、学習(自由研究等)する。
⑧	親と子で星を見る会	8月・2月	公園 (生活体験広場) 道の駅	町内小学4, 5, 6年生児童とその保護者	道の駅(多目的室)で映像を見ながら、星について学び、その後公園で天体望遠鏡で観察する。
⑪	発掘体験	発掘日 (不定期)	公園周辺 (唐古・鍵遺跡内の発掘現場)	一般、親子 (こどものみは不可)	発掘作業を体験する。2時間程度(考古学講座の一環として実施)。
⑫	弥生の農と食体験	5月～11月	公園 (多重環濠エリア) 周辺の水田	一般、親子 (こどものみは不可)	発掘された種子等をもとに、アワ、ヒエ、マクワウリ、ヒョウタン等を育て、青垣生涯学習センターでの調理と食の体験を実施する。 将来的には、公園周辺の水田を借地し、古代米も育てていく。
⑬	竪穴住居の建築プロジェクト	適時	公園 (弥生の建物広場)	一般、親子 (こどものみは不可)	弥生の建物広場において、体験学習的に復元をめざす。基礎部分は公園工事としておこない、その後、柱や屋根葺きを募集した参加者やボランティアを中心に建築をおこなう。
⑭	弥生の景観づくり	適時	公園 (弥生の林エリア、 多重環濠エリア)	一般 (主に地元住民)	弥生の風景を再現するため、公園の一部においてボランティア等による植生管理と維持する。

## (2)地域コミュニティとしての活用

一覧 番号	活用方法	実施日	場所	対象	内 容
⑮	ボランティア活動の支援	適時	公園等	一般 (特に地元住民)	公園の活用事業において、ボランティアとして活動するための知識・情報等についての学習と活動を支援。

## (3)歴史的景観(まちづくり)としての活用

一覧 番号	活用方法	実施日	場所	対象	内 容
③	日の出、名月の鑑賞会(再掲)	7月～10月 2回程度	公園 (弥生の林エリア) 道の駅	全ての人	春分・夏至・秋分・冬至の日の出や中秋の名月を鑑賞する。
④	昆虫・草花・野鳥観察会(再掲)	適時 3回程度	公園 (弥生の林エリア 多重環濠エリア)	主に小学生	昆虫・草花・野鳥の観察や標本作りをおこない、学習(自由研究等)する。
⑧	親と子で星を見る会(再掲)	8月・2月	公園 (生活体験広場) 道の駅	町内小学4, 5, 6年生児童 とその保護者	道の駅(多目的室)で映像を見ながら、星について学び、その後公園で天体望遠鏡で観察する。
⑫	弥生の農と食体験(再掲)	5月～11月	公園 (多重環濠エリア) 周辺の水田	一般、親子 (こどものみは不可)	発掘された種子等をもとに、アワ、ヒエ、マクワウリ、ヒョウタン等を育て、青垣生涯学習センターでの調理と食の体験を実施する。 将来的には、公園周辺の水田を借地し、古代米も育てていく。
⑯	写生・フォトコンテスト	適時	公園全体	一般、こども	弥生の風景を思い描きながら、写生したり写真を撮ってもらい、楽しんでもらう。又、多くの人に参加、鑑賞してもらい機会としてコンテストを実施する。

## (4)観光的(地域資源)活用

一覧 番号	活用方法	実施日	場所	対象	内 容
⑱	県・近隣市町村との連携	通年	町内 周辺市町村	全ての人	田原本町内、周辺の市町村を含む広域のウォーキングコースで、公園・道の駅を利用し、歴史を学ぶ。

## 2. 継続的な発掘調査による遺跡情報を発信する公園

### (1) 教育的・社会教育的活用

一覧 番号	活用方法	実施日	場所	対象	内 容
⑪	発掘体験 (再掲)	発掘日 (不定期)	公園周辺 (唐古・鍵遺跡内の 発掘現場)	一般、親子 (こどものみは 不可)	発掘作業を体験する。2時間程度 (考古学講座の一環として実施)。
⑱	県・近隣市 町村との 連携 (再掲)	通年	HP 展示施設等	全ての人	県・近隣市町村との連携を図り、文 化財に関連する情報を共有し、発信し ていく。
⑲	HP等による PR	通年	町HPに、遺 跡特設サイト 設置	全ての人	史跡公園や唐古・鍵考古学ミュージ アム、唐古・鍵遺跡に関する情報を特 設サイトにまとめ、提供していく。

### (4) 観光的(地域資源)活用

一覧 番号	活用方法	実施日	場所	対象	内 容
⑪	発掘体験 (一部再掲)	発掘日 (不定期)	公園周辺 (唐古・鍵遺跡内の 発掘現場)	一般	発掘作業を体験する。2時間程度
⑲	HP等による PR(再掲)	通年	町HPに唐古・ 鍵遺跡の特設 サイト設置	全ての人	観光アプリに町HPの唐古・鍵遺跡サ イトをリンクさせ、観光客に新しい情 報を提供する。

### 3. 弥生の風景を再現する公園

#### (1)教育的・社会教育的活用

一覧 番号	活用方法	実施日	場所	対象	内 容
③	日の出、名月の鑑賞会 (再掲)	7月～10月 2回程度	公園 (弥生の林エリア) 道の駅	全ての人	春分・夏至・秋分・冬至の日の出や 中秋の名月を鑑賞する。
④	昆虫・草花・ 野鳥観察会 (再掲)	適時 3回程度	公園 (弥生の林エリア 多重環濠エリア)	主に小学生	昆虫・草花・野鳥の観察や標本作り をおこない、学習(自由研究等)する。
⑧	親と子で星 を見る会 (再掲)	8月・2月	公園 (生活体験広場) 道の駅	町内小学4, 5, 6年生児童 とその保護者	道の駅(多目的室)で映像を見なが ら、星について学び、その後公園で天 体望遠鏡で観察する。
⑩	アプリ等を 利用した 公園案内	適時	公園及び その周辺	児童・生徒	公園の各エリアにおいて、当時の風 景や建築物を再現したVR等を活用 し、学ぶ。
⑫	弥生の農と 食体験 (再掲)	5月～11月	公園 (多重環濠エリア) 周辺の水田	一般、 親子(こどもの みは不可)	発掘された種子等をもとに、アワ、ヒ エ、マクワウリ、ヒョウタン等を育て、青 垣生涯学習センターでの調理と食の 体験を実施。 将来的には、公園周辺の水田を借地 し、古代米も育てていく。
⑬	竪穴住居の 建築 プロジェクト (再掲)	適時	公園 (弥生の建物広場)	一般、親子 (こどものみは不 可)	弥生の建物広場において、体験学習 的に復元をめざす。基礎部分は公園 工事としておこない、その後、柱や屋 根葺きを募集した参加者やボランティ アを中心に建築をおこなう。
⑭	弥生の景観 づくり (再掲)	適時	公園 (弥生の林エリア、 多重環濠エリア)	一般 (主に地元住民)	弥生の風景を再現するため、公園の 一部においてボランティア等による植 生管理と維持する。
⑯	写生・フォト コンテスト (再掲)	適時	公園全体	一般・子ども	弥生の風景をイメージしながら絵を 描いたり、写真撮影をおこなう。

## (2)地域コミュニティとしての活用

⑭	弥生の景観づくり (再掲)	適時	公園 (弥生の林エリア、 多重環濠エリア)	一般 (主に地元住民)	弥生の風景を再現するため、公園の一部においてボランティア等による植生管理と維持する。
⑮	ボランティア活動の支援 (再掲)	適時	公園等	一般 (特に地元住民)	公園の活用事業において、ボランティアとして活動するための知識・情報等についての学習と活動を支援する。

## (3)歴史的景観(まちづくり)としての活用

一覧 番号	活用方法	実施日	場所	対象	内 容
⑭	弥生の景観づくり (再掲)	適時	公園 (弥生の林エリア、 多重環濠エリア)	一般 (主に地元住民)	弥生の風景を再現するため、公園の一部においてボランティア等による植生管理と維持する。

## (4)観光的(地域資源)活用

一覧 番号	活用方法	実施日	場所	対象	内 容
⑩	アプリ等を利用した公園案内 (一部再掲)	適時	公園及び その周辺	一般	公園の各エリアで、当時の風景が再現されるようなVRにより遺跡を深く理解する。

## 4. 地域住民やボランティア等が参画する公園

- (1)教育的・社会教育的活用
- (2)地域コミュニティとしての活用
- (3)歴史的景観(まちづくり)としての活用
- (4)観光的(地域資源)活用

○ 上記全ての活用において、地域住民やボランティア等が、その活動を支え参画していく。

## 5. 賑わいを創出する公園

### (2)地域コミュニティとしての活用

一覧 番号	活用方法	実施日	場所		内 容
⑥	(仮)遺跡公園秋まつり	11月上旬 ~中旬 土日2日間	公園 (弥生の建物広 場、生活体験広 場) 多目的広場	一般 (主に地元住民)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・他の史跡公園ボランティア等を招き、織物、ガラス玉づくり等の体験を実施する。</li> <li>・町内外の企業参加の物産展やフリーマーケット。</li> <li>・ステージイベントや夕刻からの花火</li> <li>・わらアートの鑑賞</li> </ul> ※これらイベントにボランティアとして参加
⑨	遺跡でウォーキング(再掲)	通年	公園全体	全ての人	正しいウォーキング法やストレッチなど、役立つ情報とともに、遺跡を眺めながら、ウォーキングが楽しめる。

### (4)観光的(地域資源)活用

一覧 番号	活用方法	実施日	場所		内 容
⑤	わらアート制作、展示	10月下旬 1週間程度	公園 (生活体験広場)	グループ、親子、個人	参加者を募集し、わらアート作品を製作し公園で展示する。来園者に鑑賞してもらう。
⑥	(仮)遺跡公園秋まつり(一部再掲)	11月上旬 ~中旬 土日2日間	公園 (弥生の建物広 場、生活体験広 場) 多目的広場	全ての人	<ul style="list-style-type: none"> <li>・他の史跡公園ボランティア等を招き、織物、ガラス玉づくり等の体験を実施。</li> <li>・町内外の企業参加の物産展やフリーマーケット</li> <li>・ステージイベントや夕刻からの花火</li> <li>・わらアートの鑑賞</li> </ul>
⑦	桜のライトアップ	3月末~4 月初め	唐古池周囲の 桜木	全ての人	2週間程度、1日約3時間桜のライトアップを実施する。
⑩	案内・説明・クイズラリー(再掲)	通年	公園全体	全ての人	<ul style="list-style-type: none"> <li>・遺跡の発掘情報をスマートフォン等を使ったVR等による遺跡を案内する。</li> <li>・公園内の遺跡説明板を参考にしたクイズを出題し、解きながら周遊する。</li> </ul>
⑰	史跡公園PR	通年	町主催、参加 イベント等	町職員 公園ボラン ティア イベント スタッフ 等	各課で開催する行事や参加イベント等で着用し、遺跡をPR。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ハッピー(職員用)</li> <li>・ジャンパー(公園ボランティア)</li> <li>・貫頭衣(イベントスタッフ等用)</li> </ul>
⑱	広域観光(県・中南和市町村等)	通年	公園 道の駅 ミュージアム	全ての人	関係機関等と連携し、観光客の誘客を図る。
⑲	HP等によるPR(再掲)	通年	観光HP	全ての人	町HPの唐古・鍵遺跡のサイトとリンクし、観光客に新しい情報を発信する。



ようこそ

# 唐古・鍵遺跡史跡公園へ



北

この池は、江戸時代につくられた農業用のため池です。この池の下にも遺跡があり、国道24号をつくるときに発掘されました。今はその南西すみに土器にえがかれた楼閣を復元しています。

公園の入り口にある遺構展示情報館では、発掘調査で見つかった弥生時代でもっとも古い大型建物の柱穴模型を展示し、発掘した状態を再現しています。  
また、この部屋で弥生時代のむらのような様子についてボランティアの方から説明を聞くことができます。

公園の北東がわには、むらをこう水や敵から守るための多重環濠の一部を復元しています。いちばん内がわの環濠は、直径400mのはんい（公園の1.8倍の広さ）にわたってむらをかこんでいました。



西

東

公園の西がわには、発掘調査で見つかった大型建物あとをその位置の上に柱だけで表現しています。もっとも太い柱は直径83cmもあり、その建物はたまたみ約50枚の広さにもなります。

公園の南東がわは、弥生時代の風景に近くなるようにして、植物観察やこん虫などの生き物さがしができるようにしています。

公園の南がわは、弥生時代の生活を体験できる広場です。土器の野焼きや火おこし、復元した弥生土器を使った炊飯ができます。

南

